

遠地地震による津波警報



- ▶津波情報の状況…
 - 7月30日(水) 8時37分 津波注意報 発表
 - 9時40分 津波警報 切替え
 - 20時45分 津波注意報 切替え
 - 7月31日(木) 16時30分 津波注意報 解除
- ▶避難指示の対象…2,401世帯 4,958人 ※津波警報時
- ▶開設した避難所数…最大11箇所
- ▶避難所への避難者数…最大597人

7月30日、久慈市総合福祉センターに避難する車両

避難のポイント

非常持ち出し袋を準備しよう

全ての避難場所や避難所に十分な備蓄はされていません。災害時には、支援物資がすぐに届かない場合もあります。避難時に困らないために、自分の非常持ち出し袋を準備しましょう。

非常持ち出し袋は、持って運べる必要最低限の内容にし、両手が使えないようにリュックサックなどに入れましょう。重さの目安は、男性が15kg、女性が10kgとされています。避難訓練に実際に持ち出して、持ち運べるか確認してみましょう。



命を守る物を優先し、自分に必要な物を準備しましょう！

防災危機管理課 防災対策官 おおつらい 大粒来 輝行さん

▼非常持ち出し品の例

分類	用品例
飲料水	携帯用飲料水 (500mlボトル) 1人2本程度
食料品	レトルトや缶詰など調理しないで食べられる食品 1日分
嗜好品	チョコレート、アメ、ようかんなど
防災用品	ヘルメット、防災頭巾、軍手、マスク、懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池、笛、使い捨てカイロ、防寒シート、毛布
衣類	長袖長ズボン、ジャンパー類、下着、雨具
生活用品	箸、スプーン、缶切り、ナイフ、紙皿、紙コップ、ラップ、ビニール袋、ウエットティッシュ、トイレトーパー、歯ブラシ
救急用品	消毒ガーゼ、ばんそうこう、はさみ、ピンセット、傷口消毒液、安全ピン、体温計、常備薬
貴重品 (避難時に準備)	携帯電話、充電器、預金通帳、印鑑、現金 (10円、100円玉)、母子健康手帳、健康保険証、診察券、お薬手帳

避難目標地点を確認しよう

津波から短時間で安全に避難できるよう、避難目標地点と主な避難経路を設定しています。避難目標地点は、津波浸水範囲の外側に設定。経路することで、津波浸水範囲を避けながら、避難場所まで安全に移動することが出来ます。避難目標地点には、夜間の目印にもなる蓄光使用の標識を設置。最寄りの避難場所への距離が記載されています。

避難目標地点や避難経路は、令和5年版久慈市津波避難マップや防災危機管理課HPで確認できます。自宅や職場などからの避難目標地点や避難経路を確認しましょう。

▲津波避難マップ

▲避難目標地点の標識

■防災情報の集め方

災害時に大切なのは「情報」を正しく入手すること。市では津波注意報や警報の発令時に、防災行政無線や緊急速報メールで広報を行い、以下の方法で情報を配信します。正しい情報を集められるよう、事前に確認し備えましょう。

▶情報を文字で確認する

- 安心・安全メール [対応言語]日本語、英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)
- 久慈市防災行政無線X(旧Twitter)
- 久慈市公式LINE
- 防災行政無線電話応答サービス ☎ 0120-62-1281

市公式LINEで防災無線の内容が確認できます！

- 公式LINEのメニューから利用者設定を選択
- お知らせ受信設定を選択
- 防災無線情報の右側を押し、右下の設定を選択
- 防災無線の内容が通知されるようになります

警報などの種類 (発表基準)	避難指示の発令範囲
大津波警報 (3mを超える)	津波浸水想定区域内の市内全域
津波警報 (1mを超える3m以下)	長内町(元木沢・玉の脇・下長内・東広美地区)、宇部町(久喜・小袖地区)、夏井町(大湊・駅前・半崎地区)、湊町、源道、新井田
津波注意報 (0.2m以上1m以下)	防潮堤より海側の地区

※防災行政無線などで避難指示を行う際、具体的な避難場所は指示しません。あらかじめ自分が避難する場所を決めておくことが重要です。

7月30日の8時37分、カムチャッカ半島沖で発生した地震(日本時間8時24分)により、岩手県を含む太平洋に面した多くの自治体に津波注意報が発表されました。9時40分には津波警報に切り替わりました。

市では、防災行政無線や緊急速報メールなどで避難指示を行ったほか、避難所の開設を行い避難者の受け入れを行いました。

発表されていた津波警報は、同日20時45分に津波注意報へ切り替わり、7月31日16時30分には津波注意報が解除されました。



久慈市総合福祉センターへ続く渋滞

市では2日間を通して、久慈港への最大1・4mの津波を確認。交通機関に運休などの影響がありました。遠地地震が伴う津波災害の場合、突然、津波情報が発表されます。それは必ずしも自宅にいる時とは限りません。自宅のほか、勤務先や学校、よく過ごす場所からの津波避難について、もう一度、確認しましょう。そのためには、津波避難訓練への参加は有効です。

自動車による避難状況

津波警報発表後、避難場所に向かう自動車による渋滞が各地で発生しました。自動車による避難は、迅速に避難できますが、道路

▼交通の方法に関する教訓 (車を運転中に大地震が発生したとき)

引き続き車を運転するとき	道路の破損、信号機の作動停止、道路上の障害物などに十分注意すること。
車を置いて避難するとき	できるだけ道路外の場所に移動しておくこと。やむをせず道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて停車し、エンジンを止め、エンジンは付けたままとするか運転席などの車内の分かりやすい場所に置いておくこととし、窓を閉め、ドアはロックしないこと。駐車するときは避難する人の通行や災害応急対策の実施の妨げとなるような場所には駐車しないこと。

の破損や渋滞の発生などにより避難ができない可能性もあります。国家公安委員会の「交通の方法に関する教訓」では、大地震が発生したときの運転者の措置について、左の表のように示されています。冷静な避難行動が取れるよう考えておくことが大切です。

▼津波避難時に、付近で渋滞が確認されている避難場所…中町イベント広場、久慈市総合福祉センター、久慈総合運動場